

2025（令和7）年度 事業報告書

社会福祉法人山鳩会
みどりの森

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）基本方針

①地域の方と円滑な関係を築き、交流を深める。

- ・回収やバザーなどを行い、地域の方々から声をかけてもらうことが多かった。地域清掃も今年は回数が少なかったが労いの言葉をかけてもらえた。また諏訪町と野口町のイベントに多く参加して地域との交流を深めることができた。
- ・近くの八国山保育園とは今年度行事を通して関係を作る事ができ、また白十字ホームとも利用者の就労やイベント参加の他に、新たな作業を通し関わりを持つことができた。

②心身ともに安定した生活が送れるように支援する。

- ・毎月初に体重および血圧の測定を実施し、該当する利用者については個別支援目標に反映させ、支援を行った。また、高齢の利用者や状態が不安定な利用者に対しては、個々の状況に応じた対応を行うとともに、ケース会議の検討・実施を通じて必要な支援を提供した。

③健康の維持・増進と病気の早期発見に努める。

- ・健康診断、歯科健診、インフルエンザ予防接種を行なった。健診結果をもとに通院を促し、その後の状況確認を行なうとともに、健康課題に対応できるよう日課を工夫するなどした。また、毎日の体温測定や消毒をすることで感染症の予防、早期発見に努めた。

④短時間就労の利用者に対して安心して働けるよう関係機関と連携してフォローを行う。

- ・関係企業との連絡を密に取り合い必要に応じて巡回指導を実施し、不安要因の早期把握および解消に努めた。また、医療機関や相談支援事業所、家庭等と連携し、利用者の体調や生活状況に配慮した支援体制を構築することで、安心して就労できる環境整備を行った。

⑤職員一人一人が自らの役割を明確化し、チーム一丸となってより良いサービスを提供する。

- ・明確な役割分担と個別支援計画を全職員に周知する事で、それぞれが役割を理解して動き、報告・連絡・相談を欠かさないよう連携を強化することで、統一した支援の提供に努めた。

(3) 中期目標（令和7年度～令和9年度）

- ①定員増に伴い、令和9年度までに定員以上の利用者獲得を目指す。
 - ・東久留米特別支援学校からの実習受入れを行い、実習生一人ひとりに対して丁寧な関わりを行った。その結果、次年度において新たに2名の利用者獲得につなげることができた。
- ②近隣地域で資源回収、清掃活動、バザーを行うことで地域と良好な関係を築く。
 - ・定期的なバザーの実施や回収作業を通じて、地域との良好な関係構築に努めた。その結果、声掛けやバザー品の持ち込みなど、積極的な交流の機会が増加した。また、これらの活動を通して、日頃の取り組みが地域に周知されてきていることがうかがえた。
- ③就労受け入れ先と良好な関係を築くと共に短時間就労希望者に社会参加の機会を提供していく。
 - ・本人の自己実現を目的として、就労利用者に対する巡回指導を実施し、社会参加の機会の提供に努めた。また、関係機関との連携を継続し、巡回時の直接的な対話を通じて良好な関係の構築を図った。さらに、希望者に対してはハローワークへの同行支援を行い、就労機会の確保に取り組んだ。
- ④事業所周辺の環境の変化に伴い利用者が安全に通所安心して過ごせるように安全対策に努める。
 - ・利用者の安全確保のため電子錠の修繕を行い、インターホンによる開閉管理を導入した。また、最寄り駅周辺の環境変化を踏まえ、利用者への声掛けや途中までの同行支援を実施するなど、安全対策の強化に努めた。

2. 施設概要

- (1) 施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）
- (2) 利用定員 35名（現利用者数33名）
- (3) 開所年月 平成21年4月1日
- (4) 施設規模 敷地面積 539.34㎡
延床面積 280.54㎡
建物構造 木造1階建て
賃貸区分 （土地）賃貸 （建物）賃貸

3. 職員構成

(1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名
支援員（常勤職員）	4名
保育士（常勤職員）	0名
調理員（常勤職員）	0名
事務員（非常勤職員）	1名
支援員（非常勤職員）	7名※内1名兼務
保育士（非常勤職員）	0名

調理員（非常勤職員）	3名※兼務
看護師（非常勤職員）	0名
理学療法士（非常勤職員）	1名※兼務
作業療法士（非常勤職員）	0名
合 計	17名

※支援員1名は調理員と兼務、理学療法士はなごみの里と兼務

(2) 嘱託

医師（2回／年）	1名
看護師（0回／月）	0名
理学療法士（0回／年）	0名
作業療法士（0回／月）	0名
合 計	1名

4. 利用者状況

(1) 障害程度

	1度	2度	3度	4度	未定	合 計
愛の手帳	1名	10名	14名	8名	0名	33名
身障手帳	1名	2名	0名	0名	0名	3名
精神保健手帳	0名	0名	0名	0名	0名	0名

※身障手帳・精神保健手帳と重複

(2) 年齢構成（平均年齢38.6歳）

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合 計
男	0名	5名	7名	4名	7名	0名	23名
女	0名	1名	5名	3名	0名	1名	10名
合計	0名	6名	12名	7名	7名	1名	33名

最低年齢 男…20歳 女…22歳 最高年齢 男…56歳 女…83歳

平均年齢 男…39.7歳 女…40.1歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	清瀬市	杉並区			合 計
31名	1名	1名			33名

(4) 障害支援区分

区分	2	3	4	5	6	未定	合 計
人数	3名	5名	10名	6名	0名	9名	33名

(5) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
退所者	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
月末数	33	33	33	33	32	32	32	33	33	33	33	33	393
延べ日数	726	759	726	759	672	704	736	726	759	759	660	759	8,745
延べ人数	665	707	669	693	609	659	689	630	686	675	593	694	7,969
出席率（定員）	86.4	87.8	86.9	86.1	82.9	85.6	85.6	81.8	85.2	83.9	84.7	86.2	85.3
出勤率（現員）	91.6	93.1	92.1	91.3	90.6	93.6	93.6	86.8	90.4	88.9	89.8	91.4	91.1

5. 日課

（１）月～金曜日

時間	内容
8：30～ 9：00	朝礼・軽運動
9：00～11：45	作業
11：50～12：50	昼食・昼休み
12：50～15：30	作業
15：30～15：45	清掃
15：45～16：00	終礼・帰宅

（２）土曜日

時間	内容
8：30～ 9：00	朝礼・ストレッチ
9：00～11：20	作業
11：20～12：00	昼食・終礼・帰宅

6. 重点目標

（１）地域との関わり

- ①野口町、諏訪町自治会の年間行事に可能な範囲で参加する。事業所で行うバザーや施設祭にて事業所の理解を広めて良好な関係を維持する。
 - ・今年度も野口町および諏訪町の各種イベントへ積極的に参加し、事業所への理解促進に努めた。また、本年度は初めて地域の防災訓練に参加し、災害時の対応や行動についての知識・理解を深めることができた。
 - ・バザーは毎月第１・第３火曜日に定期開催し、地域の方々にも認知され、固定客の増加につながることができた。また施設まつりにおけるバザーは好評であり、菖蒲まつりの開催時期に合わせて実施したことで、多くの来場者の参加を得ることができた。
- ②地域清掃活動（みどりの森クリーンプロジェクト）を通して地域に貢献する。
 - ・今年は暑い日が多く、実施日数は限られたが、ビブスを着用して清掃活動を行うことで「みどりの森」の存在を地域にアピールできたと感じる。ビブス着用の効果は予想以上で、以前よりも励ましや応援、労わりの言葉を多くいただき、利用者・職員ともに直接聞くことで意識の向上につながった。

- ③グリーンバンドを通じて、地域で演奏する場を設け地域の方々との交流を図る。また音楽ボランティアの協力を得ながら、活動の質を高め音楽の楽しさを味わい自己実現に繋げる。
- ・ 11月の白十字フリーマーケットでは、白十字ホームの方々とコラボ演奏を行い、交流を深めることができた。また、白十字ホームで音楽コーディネーターを務める方にボランティアとして年間14回関わっていただいたことで、バンドメンバーの意識向上が促され、練習への取り組みが活発になり、音楽活動の質が高まった。利用者・職員ともに、より高い目標意識と向上心を持って活動に取り組むことができた。その結果、様々なイベントに参加する機会を得て、不特定多数の人前での歌唱・手話・演奏を通して、成長を実感できた1年であった。

(2) 健康・衛生

- ①感染症予防対策として、日常的に利用者、職員の健康状態を把握し、衛生的な環境整備の徹底を図る。
- ・ 利用者の係活動や個別支援計画に消毒の実施を組み込み、利用者・職員ともに衛生意識を維持しながら日課を過ごすことができた。マスク着用や手洗いの習慣も定着しており、感染症の流行を防ぐことができた。
 - ・ 体温・体重・血圧の管理を行い、日々の変化に気づけるよう努めた。また、毎日夕方の消毒を実施することで施設内の衛生を維持した。さらに、毎日の検温や日常のコミュニケーション、連絡帳での情報共有を通じて、利用者の健康状態の把握に努めた。
- ②個別支援計画に基づき理学療法士による個々のプログラムを実施し、身体機能の維持向上を図る。
- ・ 午後の作業開始前に時間を設定し、職員で分担して利用者のストレッチを実施した。昼食後に時間を確保することで、概ね毎日実施することができ、継続する中で利用者自身もストレッチの重要性を意識できるようになったと感じる。
 - ・ 偶数月に理学療法士を招き、利用者一人ひとりに適したプログラムの見直し・更新を実施した。
- ③定期健康診断、歯科健診、インフルエンザワクチン接種、毎月の体重血圧測定の他、婦人科検診を行い、利用者の健康状態を把握する。定期健康診断結果後に職員間で情報共有し必要に応じて家庭等と情報共有を行う。
- ・ 体重や血圧については利用者と話し合い、改善できるよう支援をした。
 - ・ 毎年行う健診はすべて実施をした。
 - ・ 定期健康診断 6／11
 - ・ 婦人科検診（子宮がん） 8／12
 - ・ インフルエンザワクチン接種 11／19
 - ・ 歯科健診 折笠歯科 2／5

(3) 作業・就労活動

- ①現状を維持し平均工賃1万円を確保する。
- ・ 地域との繋がりから新規作業を複数請け負うことができ、平均工賃1万5千円以上に引き上げることができた。
 - ・ 令和7年度10月より白十字ホームでシーツ交換作業を開始。
 - ・ 市内の農家よりじゃがいも掘り、磨きの作業を受注。

- ②利用者一人一人と向き合い、個々の可能性を引き出せるよう常に模索し、働くことの喜びや達成感を得られるような取り組みを行う。
- ・個別支援計画を通して様々な試みを実施した。利用者ごとに作業の進め方を工夫するとともに、作業工程だけでなく作業環境にも配慮した。スモールステップで達成可能な作業を提供することで、利用者の達成感や自信につなげ、できる作業の幅を広げることができた。
- ③職員配置を流動化することで職員の意識やスキルアップを図る。
- ・出来る範囲で実施した。概ね流動化し配置したことで、特に非常勤職員のスキルアップにつなげることができた。
- ④現在就労している人が安心して働き続けられるよう関係機関と連携しフォローしていく。
- またニーズに応じて外部実習や短時間雇用の開拓・支援を行ない、就労施設とは違った新しい社会参加の形を提供する。
- ・就労中の利用者が安心して働き続けられるよう継続的にきめ細やかなフォローを行った。該当利用者に対して職員からの声かけを欠かさず、安心して相談できるような環境づくりに努めた。新規での外部実習や短時間雇用等の提供は行えなかった。

事業所内活動

(単位：円)

	受注・納品先	作業内容	稼働日	参加者	令和6年度収入	令和7年度収入
清掃事業	西武 武蔵野パートナーズ	中央公園 浅間山清掃	月10回	8名	1,002,144	1,005,664
	白十字ホーム	施設内の草取り	6月～10月	8名	66,780	69,780
	個人宅	マンション清掃	月2回	4～6名	66,000	66,000
	全生園 個人宅他草取り	草取り	6月～3月	全員	379,000	222,000
	さやま園	施設内の草取り	5月～11月	全員	146,666	146,666
	白十字ホーム	リネン交換	週3回	3名	0	452,406
受託事業	(福)平成の里	封入・シール貼り	随時	全員	566,197	581,184
	(株)新日本包装	箱折り・組み立て	随時	全員	273,597	259,083
	(株)プロメディア	封入・シール貼り	随時	全員	841,777	506,697
	みらい図	丁合・封入	随時	全員	73,375	382,417
回収事業	市内・近隣地域	古紙 リサイクル品回収	週2～3回	8名	2,794,691	2,771,413
その他事業	ミニバザー	リサイクル販売	月2回	8名	285,484	360,795
	白十字チラシ・遠藤製餡 たかみいファーム	ポスティング 野菜洗浄	随時	全員	133,440	242,737
小 計①					6,629,151	7,066,842

パート・アルバイト

(単位：円)

	受入先	作業内容	稼働日	参加者	令和6年度収入	令和7年度収入
パート契約	青葉の杜	施設内の清掃	週3日	1名	81,067	179,199
パート契約	ハーベスト	給食食器洗浄	週5日	1名	1,093,348	1,093,248
パート契約	白十字ホーム	下膳	週2日	1名	212,066	223,426
小 計②					1,386,481	1,495,873
合 計①+②					8,015,632	8,562,715

工賃支払実績

(単位：円)

	総額	平均額	最高額	最低額	パート・アルバイト
4 月	638,000	21,126	29,700	10,100	133,588
5 月	293,700	9,567	14,200	5,000	130,623
6 月	358,000	11,776	16,600	5,700	139,014
賞与	351,000	11,546	14,000	6,000	0
7 月	321,100	10,668	15,200	5,200	152,579
8 月	405,000	13,966	19,200	6,400	101,548
9 月	369,400	12,313	19,900	5,500	55,780
10 月	304,100	10,137	14,300	4,800	137,561
11 月	334,600	11,699	19,500	4,200	140,121
12 月	278,000	9,329	14,900	3,000	137,019
賞与	347,000	11,644	14,000	7,000	0
1 月	450,100	15,362	27,600	4,800	134,563
2 月	518,800	17,468	29,400	6,300	111,468
3 月	504,800	16,771	31,600	6,200	122,009
合計	5,473,600	183,372	280,100	80,200	1,495,873
平均	456,133	15,281	23,342	6,683	124,656

※パート・アルバイトについては本人へ直接支給される

(4) 給食

①利用者の健康状態に基づき、可能な限り個別の希望に応じた献立を提供する。

- ・利用者の様子を観察し、必要に応じて食事形態を調整するとともに、できる限り希望に沿った給食の提供に努めた。また、嗜好調査を実施することで、献立の需要や好みに関する情報を把握した。

②栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

	熱量	蛋白質	炭水化物	脂質	カルシウム	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC
計画	645kcal	24.15g	95.45g	19.6g	104.4mg	0.36mg	0.30mg	35mg
実績	590Kcal	22.6g	89.2g	17.1g	115mg	0.37mg	0.27mg	32.5mg

(5) 自治会活動

- ・毎月1回、話し合いの場を設け、利用者が日々感じていることを発信できる機会を提供した。要望を具体化する支援を行うとともに、自分の意見を伝える力を養うことで自信につなげた。また、自分の意見が取り上げられる体験を通じて、日課への関心を高め、積極的に過ごせるよう支援した。
- ・利用者は意見を出すことにためらいなく、思いつくままに発言できていた。また、発語の有無に関わらず、様々な方法で意思表出を支援し、全員の意見が反映されるよう努めた。

(6) 行事

①クラブ活動（隔月実施）

種 目	主な活動場所
ゲームクラブ	みどりの森作業室

	・各担当職員が工夫を凝らし、頭や体を使ったゲームを提案することで、利用者がリフレッシュできる時間を提供した。ボードゲームやレクリエーション、道具を使用した活動など、多様な方法で利用者が楽しめるよう努めた。
カラオケクラブ	みどりの森作業室 ・利用者は自身の選んだ曲を楽しむだけでなく、他の利用者の好きな曲を聞くことで、普段触れることのない音楽にも親しむことができた。事前にリクエスト曲を募ることで、参加者が時間内により多くの歌を楽しめるよう工夫した。
お出かけクラブ	店舗に出かけ買物、地域に出かけお散歩等を行う ・事前に利用者によりサーチし、行きたい場所や買いたい物を決めて実施し楽しく参加できていた。 ・外出前の確認事項が多く、利用者も多かったため実施には難しさがあったが、一方で利用者が楽しんでいる様子が明確に見られた。また、外出時にお金を使う場面を設けることができ、実生活に近い体験を提供できたことは良かった。

②年間行事予定

日付	内容	場所	目的	人数
6/30, 7/7, 14, 9/1, 8	防災体験	立川防災館	立川防災館を訪問し、防災にまつわる知識を学び日頃の防災訓練に活かす。万一の場合に落ち着いて行動できるようになるための体験を行う。	37名
6/7	施設祭り	みどりの森	近隣、地域の方、保護者と交流し、相互理解を深める。バザー品等を販売し、工賃に反映する。みどりの森を知ってもらい利用者理解を深める。	38名
8/2	猿田彦神社夏祭り	猿田彦神社	野口町自治会行事に参加し、地域の方々と交流することで事業所の理解を深め、良好な関係を築いていく。	4名
8/7	暑気払い	みどりの森	地域の方をもてなし、地域交流を深める。疲労と暑さを互いに労い、楽しい時間を過ごす。	41名
9/21	てんしゃばフェスタ2025	東村山駅 西口駅前	野口町の発展として開催されるイベントに地域の一員として参加し、出店を通して地域の方々と交流しながら施設を知っていただき福祉への理解を広める。	4名
10/19	諏訪スポーツ祭り	東村山市立 化成小学校	地域に根差す活動および運動不足解消を目的に、楽しみながら参加する。みどりの森、山鳩会を知っていただく場とする。	25名
10/30	グループ別外出 「多摩動物公園」	多摩動物公園	利用者が選択した多摩動物公園に公共交通機関を利用し出かける経験をする。利用者と共に外出計画を立て実行する。	8名
11/10	グループ別外出 「池袋（サンシャイン水族館～アニメイト池袋本店）①」	サンシャイン 水族館 アニメイト 池袋本店	事前に行先や、昼食を調べ選ぶことで期待感を持って臨む。個人目標に対し、意欲的に取り組み達成感を得る。	7名
11/14	親子バスハイク	シンフォニー クルーズ	クルーズ体験などを通じて、公共の場での過ごし方や社会的マナーを実践的に学ぶ。また、普段とは異なる特別な体験を通して、利用者の心に残る思い出を作る。保護者と交流し情報を共有することで今後の利用者支援に活かす。	60名
11/16	白十字八国山 フリーマーケット	白十字ホーム	諏訪町行事に参加し、地域の方々と交流を深め良好な関係を築いていく。また、白十字ホームの利用者の方々と一緒に演奏することで音楽の楽しさを味わい、会場のみんなと共有する。	30名
12/5	グループ別外出 「池袋（サンシャイン水族館～アニメイト池袋本店）②」	サンシャイン 水族館 アニメイト 池袋本店	外出を通して公共の場でのマナーや社会的な行動を身につける。	8名

12/7	Tボール大会	東村山市立化成小学校	スポーツを通し、身体を動かす楽しさを実感する。諏訪地域の方々との交流を図る。	25名
12/16	グループ別外出 「池袋（サンシャイン水族館～アニメイト池袋本店）③」	サンシャイン水族館 アニメイト池袋本店	希望する場所を自己選択し、グループで計画を立てて実行する。公共交通機関を利用することで外出マナーを学ぶとともに、利用者自身が余暇活動で利用できる社会資源を増やす。	7名
12/18	グループ別外出 「東京タワー」	東京タワー	歴史的建造物を実際に見ることで外出することへの興味を深める。	9名
11/3	運動会	みどりの森	法人全体で行うことで交流と一体感を持つ。身体を動かす楽しさを味わう。	31名
12/2	グループ別外出 「飛鳥山公園」	飛鳥山公園	自然の中で身体を動かし、汗を流す。登山を通し、達成感を味わう。	6名
12/24	クリスマス会	みどりの森	利用者自治会を活用し、準備から利用者が主体的に関わり、また当日は期待感を持って参加できるようにする。クリスマスを中心に音楽やゲームを楽しみながらコミュニケーションを深める。	39名
1/18	成人を祝う会	中央公民館	人生の節目を祝う。	26名
2/11	新年お楽しみ会	サンパルネ	山鳩会父母会のイベントにグリーンバンドが出演し、大勢の観客の前で演奏し、日頃の練習の成果を発揮するとともに自信に繋げていく。	12名
3/23	納会	みどりの森	利用者と保護者として行事を振り返り一年間の労を労う。	39名
3/29	西口弁天橋桜まつり	みどりの森前の空き地	野口町の行事に参加し、地域の方々との交流することで事業所の理解を深め、良好な関係を築いていく。	4名

※グループ別外出（日帰り）1人1回

7. 防災訓練

- (1) 災害時の利用者の安全を図るため、防災計画に基づき月1回の防災訓練を行う。
 - ・地震、火災を交互に行い、職員の役割を決めて訓練を行った。利用者は防災館での知識を活かして避難することが出来ていた。
- (2) 事業継続計画（BCP）ガイドラインの見直しと法人全体での訓練の実施、研修の実施を行う。また、定期的に会議を開催する。
 - ・法人全体での訓練を年2回実施した。BCP委員会を中心に定期的に会議を開催し、災害時対応の確認および体制強化に努めた。また災害時用連絡アプリを導入し、緊急時の連絡体制の整備を行った。
- (3) 市、関係機関などと協力し機能を果たせる準備を整える。
 - ・野口町の防災訓練に初めて参加し、地域住民と連携を図るとともに共助することの大切さを実感することができた。

8. 地域との交流

- (1) 野口町自治会や諏訪町自治会の行事に参加するとともに、バザーや施設祭、スポーツ活動を通じて交流を行う。また近隣の保育園と連携し交流できる機会を設ける。
 - ・野口町・諏訪町のイベントへの参加や、近隣の保育園との交流を通じて、地域との良好な関係を構築することができた。また、バザーの開催やアルミ缶回収BOXの設置により、地域住民が立ち寄る機会が増え、「みどりの森」の認知度向上にもつながっていると感じた。
 - ・8/2 猿田彦神社夏祭り、8/7 暑気払い（八国山保育園招待）、9/21 てんしゃばフェスタ、10/19 諏訪スポーツ祭り、10/31 ハロウィン（ソラスト保育園交流）、11/16 八国山フリーマーケット、12/7 諏訪町Tボール大会

(2) 挨拶、清掃活動、除草、回収作業など積極的に行ない、日常的な関係を充実させる。

- ・清掃活動では、地域の方々から労いの言葉をいただき、地域の一員として認知されていることが励みとなり、地域に根ざした良好な関係を維持できた。一方で、除草作業や清掃活動では暑さによる体調面の課題があり、暑い時期の実施は避け、他の時期に集中して計画的に実施するなど、安全面に配慮しながら取り組む必要があると感じた。

9. 実習生の受け入れ

(1) 希望があれば特別支援学校・在宅者の受け入れを行い将来の進路選択につながる機会を提供する。

- ・実習生の受け入れに積極的に取り組み、進路の選択肢として必要な情報や環境の提供を行った。特別支援学校の実習生のうち、2名が翌年度の入所につながったほか、市内の事業所に籍を置きながら在宅であった実習生も、みどりの森の立地が近いことから実習を経て入所に至った。

(2) 大学からの実習を受け入れ、福祉職員の養成の一端を担うとともに、人材確保の機会とする。

- ・今年度は介護等体験の受け入れはなかったが、学生ボランティアや地域のボランティアが定期的に来所しており、人材確保の一端を担った。

10. 保護者会との連携

(1) 支援の充実を図るため、家族の方との情報交換を密に行う。

- ・保護者参加のイベント、個別面談、日々の連絡帳、送迎時などで小さな事柄でも伝えあうようにすることで情報共有ができた。

(2) 事業所の活動への理解を深めるため、定期的に保護者会を行う。

- ・施設内で保護者会を開催できるようになり、保護者は利用者の働く様子を見ることができるようになった。また、来所時に担当職員と話せることが、保護者の安心につながった。

(3) みどりの森便りを月1回発行し、活動状況を発信する。

- ・今月の予定や活動状況が整理されており、毎月楽しみにしている利用者が多かった。写真を多く掲載し、内容をわかりやすく、バリエーション豊かに発行することができ、家庭からの評判も良かった。

(4) 家族が参加できる行事を行い、交流の場とする。

- ・今年度は施設祭、バスハイク、運動会で利用者・保護者・職員が一緒に参加できる機会を設け、みどりの森に対する理解がより深められた。

11. 職員研修

(1) 福祉職員として現場で活かせる専門分野の知識や技術を習得する。

- ・研修を受講し、現場で活用できる考え方や技術を学んだ。また、非常勤職員も自治体主催の研修に参加することができた。常勤・非常勤を問わず、各研修に参加することで知識を得て、利用者へのサービス提供に還元できた。

(2) 研修部会を中心にした全体研修会で法人の方針などを確認すると共に、施設間の交流や情報交換を行う。

- ・研修部会の工夫により、法人内研修では別事業所の常勤・非常勤を問わず、職員間の交流を

図りながら研修を行うことができた。また虐待防止研修、安全運転講習、全体職員会議、ミニ研修会などに参加することで、事業所間で情報交換を行うことができた。

(3) 法人全体で定期的に行う安全運転講習会に参加し、安全運転に対する意識を高める。

- ・警察から自転車の交通ルールについての講習会があり勉強になった。法改正や現行の法律・条令をあらためて認識し、より安全運転に対する意識を高めることが出来た。

- ・第1回安全運転講習会 11/13 あきつの園会場、11/17 ひなたの道会場に下記の内容でグループワークを実施。

① 「運転する上で日常的に気をつけている事」

② 「事業所で取り組める安全運転の取り組みについて」

- ・第2回安全運転講習会 2/9 ひなたの道を会場として各事業所をZ o o mで繋げて実施。

「令和8年4月1日道路交通法改正（自転車）について」東村山警察署交通課山本様の講義を実施し、最後に疑問点を質問するなどした。

研修名	実施日	主催	実施場所	参加者
施設長のための経営講座① 社会福祉法人会計入門研修	7/17	東京都福祉人材センター	みどりの森相談室 (収録型WEB研修)	加藤貴子
栄養管理講習会	6/25	東京都多摩小平保健所	みどりの森相談室 (オンライン型研修)	杉浦美里
三年目職員研修	8/1 9/5	東京都社会福祉協議会 知的発達障害部会	飯田橋 セントラルプラザ	濱本祥子
東京都サービス管理責任者 基礎研修	講義：7/23、 28、30 演習：8/29、 30	公益財団法人 総合健康推進財団	講義：収録型WEB研 修 演習：集合型研修	瀬沼未来
安全運転管理者講習	10/3	一般社団法人 東京都交通安全協会	みどりの森相談室 (オンライン型研修)	加藤貴子
全体職員研修	10/4	社会福祉法人山鳩会	ひなたの道	全員
自転車安全利用 T O K Y O セミナー	10/31	東京都生活文化スポーツ局	みどりの森相談室 (オンライン型研修)	加藤貴子
第1回安全運転講習会	11/13、 17	社会福祉法人山鳩会	13日：あきつの園 17日：ひなたの道	免許保持者
施設長のための経営講座③ 財務マネジメント中級研修	11/5～ 12/24	東京都福祉人材センター	みどりの森相談室 (オンライン型研修)	加藤貴子
ハラスメント防止研修	11/5～ 12/24	東京都福祉人材センター	みどりの森相談室 (収録型WEB研修)	加藤貴子
食品衛生実務講習会	11/12	東京都多摩小平保健所	みどりの森相談室 (オンライン型研修)	神澤いづる
東京都障害者職業センター 第7回 障害者の就労支援 に関する基礎的研修	11/26	東京都障害者職業センター	東京障害者職業センター 上野本所	瀬沼未来
強度行動障害支援者 養成研修(実践)	講義：1/6 演習： ①1/20 ②1/30	公益社団法人 東京都福祉保健財団	講義：収録型WEB研修 演習：①オンライン研修 ②集合型研修	瀬沼未来
O J T ・仕事の教え方 研修	1/20～21	東京都福祉人材センター	日本社会事業大学 文京キャンパス	白水楓子
第2回安全運転講習会	2/9	社会福祉法人山鳩会	みどりの森 (オンライン型研修)	免許保持者 自転車通勤者

精神障害者就労定着支援連絡会	2/17	東京都福祉局精神障害者就労定着連携促進事業	立川商工会議所	加藤貴子
----------------	------	-----------------------	---------	------

12. 会議

種 目	回 数	内 容
職員会議	1回／月	・ 毎月の予定の確認、行事の打ち合わせ等を行った。時間や曜日で参加できない職員には 議事録を回覧し全員に内容が周知できるようにした。 ・ 全員での協議が必要な議題とそうでない議題が混在しており、事前に上司と相談しながら 議題を整理・調整していくことが課題として 挙げた。
評 価	2回／年	・ 年2回の評価会議を行い、適切な工賃となるよう努めた。日頃の利用者を観察し作業能力について話し合うことができた。
ケース会議 アセスメント会議	2～3回 ／月	・ 利用者の現状を知るとともに意見交換や支援の提案を行った。予定通り実行できないことがあったが、振替日を設け確実に実施した。
給食会議	1回／隔月	・ 日々の給食の感想や意見をまとめ、よりよい給食の提供ができるよう話し合いを重ねた。提供方法、味付け、配膳時の注意など全般にわたり周知に努めた。改善の要望については、日々の情報交換・共有に努め、利用者に不利益のないように双方話し合いを重ねていくことが課題だと感じた。

13. 事業継続計画（BCP）

（1）防災

計画に沿った形で法人全体での訓練の実施、研修の実施を行う。また、定期的に会議を開催し、より実効性の高い防災対策を検討する。

- ・ 法人全体での訓練および研修を実施した。また、定期的に会議を開催し、災害時対応の確認および体制強化に努めた。災害時用連絡アプリを導入し、緊急時の連絡体制の整備を行った。

（2）感染症

計画に基づき、連絡調整や対応手段を整理し、感染症発生時にも円滑に事業の継続または再開をするための体制づくりをする。

- ・ 法人として委員会を実施した。毎日の消毒を行い事業所の感染リスクを抑え、今年度も集団感染はなかった。随時調子が悪い利用者に対し、ご家庭に検査のお願いをするなど対応した。また、嘱託医に消毒、感染症について相談を行い、アドバイスを受けた。

14. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、虐待防止、身体拘束の適正化、セクシャルハラスメント防止

（1）苦情解決

- ①利用者からの苦情解決実施要綱に基づき、苦情に対しては真摯に受け止め迅速且つ円滑な解決方法を見出せるよう努める。

- ・ 大きな苦情はなかった。苦情解決担当者を設置し、苦情が起きた場合に備えることが出来た。また苦情解決について利用者への周知の機会を設けた。今後も定期的に機会を設けて説明していく。

②担当窓口及び第三者委員を掲示し、苦情解決への仕組みを利用者・家族へ周知する。

- ・保護者会での説明や廊下に掲示するとともに、利用者への周知を行った。

(2) 個人情報保護

個人情報保護規定に基づき、個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、データの管理を適切安全に扱う。

- ・個人情報保護については職員全体に周知することができている。持ち出し禁止の徹底、施錠できる書庫での管理にて、適切安全に取り扱うことができた。

(3) 権利擁護・虐待防止・身体拘束の適正化

①人権の擁護、虐待防止等に関する運営委員会、担当職員を配置し、必要な支援体制の整備を行う。

- ・虐待防止委員会を設置し、グレーゾーンなどについての研修を行った。またミニ研修会にて虐待防止・権利擁護等について様々な立場の職員と意見交換ができた。

②身体拘束の対策を検討する委員会を定期的開催する。

- ・虐待防止委員会を定期的開催した。

③職員は、虐待防止の啓発・普及、身体拘束の適正化に関する研修を受講する。

- ・虐待防止に関する研修を受けたことでより注意しながら支援を行うことが出来た。全体職員会議での虐待防止研修、ミニ研修会での意見交換に参加し、知識と理解を深めることができた。

(4) セクシャルハラスメント防止

担当職員を配置し、セクシャルハラスメントの防止・対応にあたる。

- ・情報共有を行い、大きなトラブルになる前に該当者への注意をすることが出来た。また担当者を掲示するなどして防止にあたった。

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	加藤 貴子	042-395-3210
担当者	白水 楓子	同上
第三者委員	赤木 ふき子	同上

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	加藤 貴子	042-395-3210
担当者（男性）	瀬沼 未来	同上
担当者（女性）	近藤 香織	同上

虐待防止・身体拘束の適正化

	氏名	連絡先
責任者	加藤 貴子	042-395-3210
担当者	佐伯 哲也	同上